



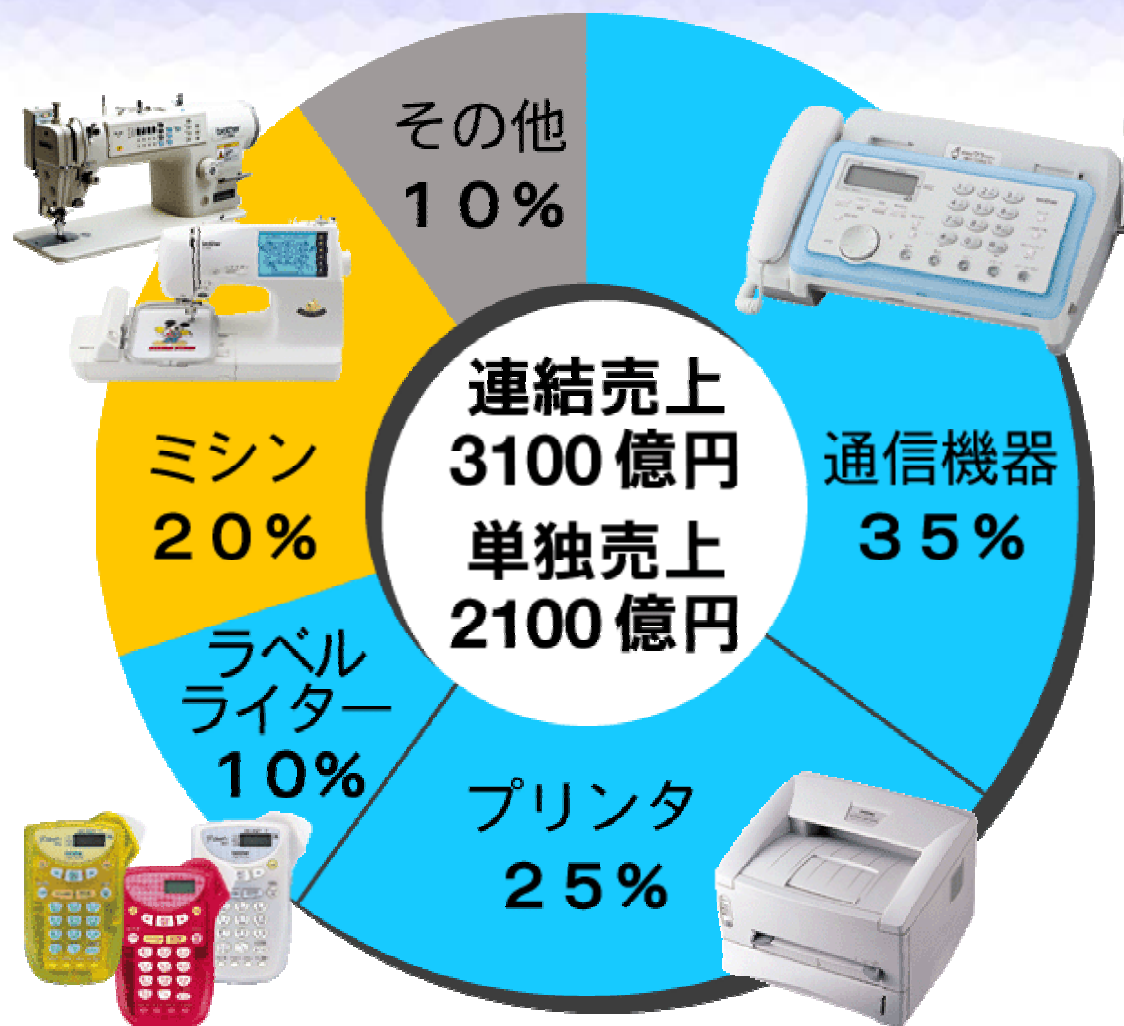
ユーザビリティ評価

「ハンディPTの評価と企画への展開」

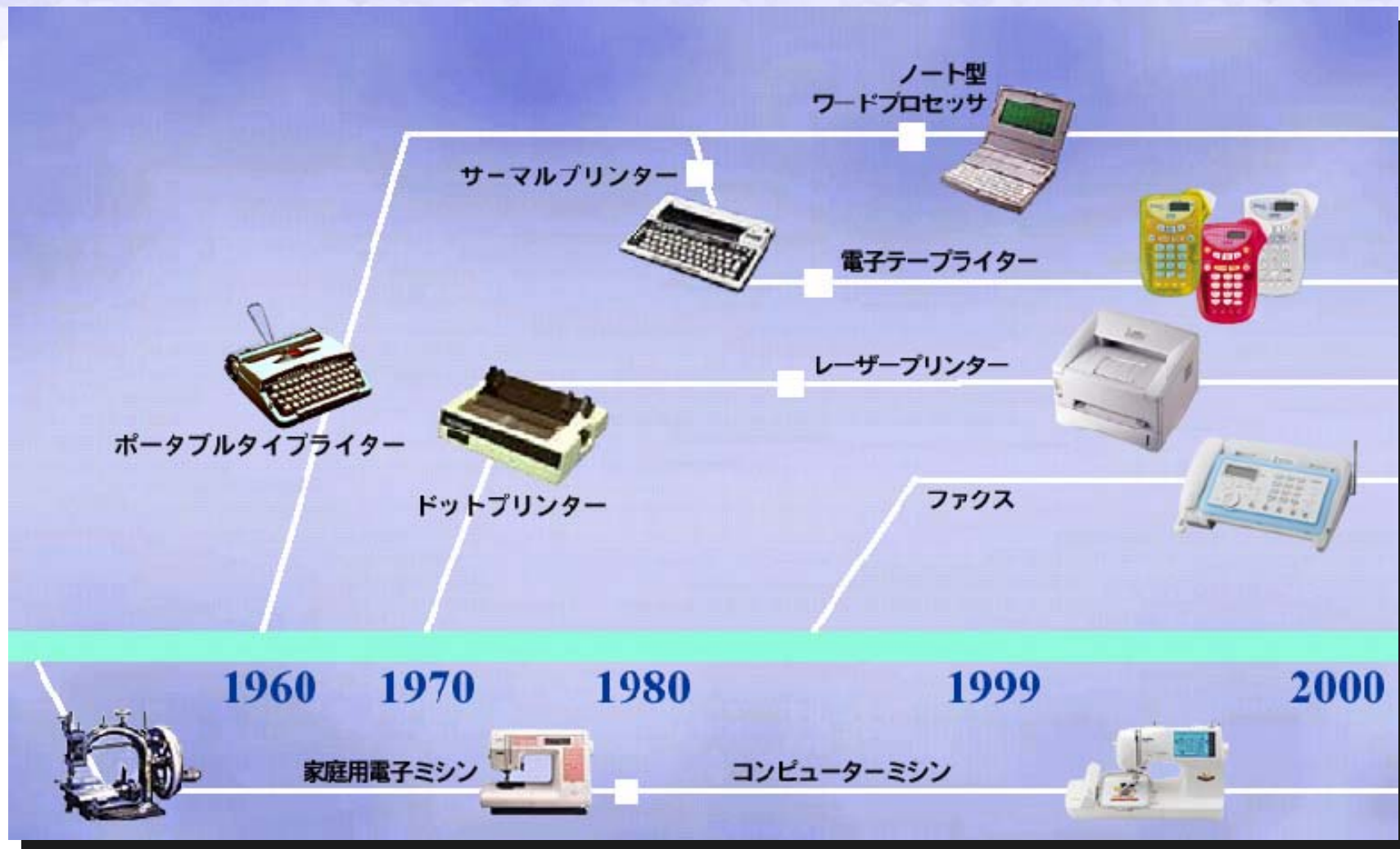
ブラザー工業株式会社

平成13年10月5日

1-1.ブラザー工業の売上構成



1-2.テクノパノラマ



1-3.ブラザーのカンパニー制('00/4/01~)

~ 顧客視点での3つのカンパニー ~

ターゲット

オフィス

ホーム

ファクトリー

I & Dカンパニー
Information
&
Document

Innovation



ファクス、プリンタ

P & Hカンパニー
Personal
&
Home

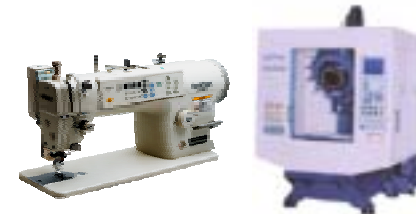
Creation



ラベルライター、家庭用ミシン

M & Sカンパニー
Machinery
&
Solution

Solution



工業用ミシン、産業機器

1-4. ラベルライター



米国

80%

1位

欧州

55%

1位

日本

20%

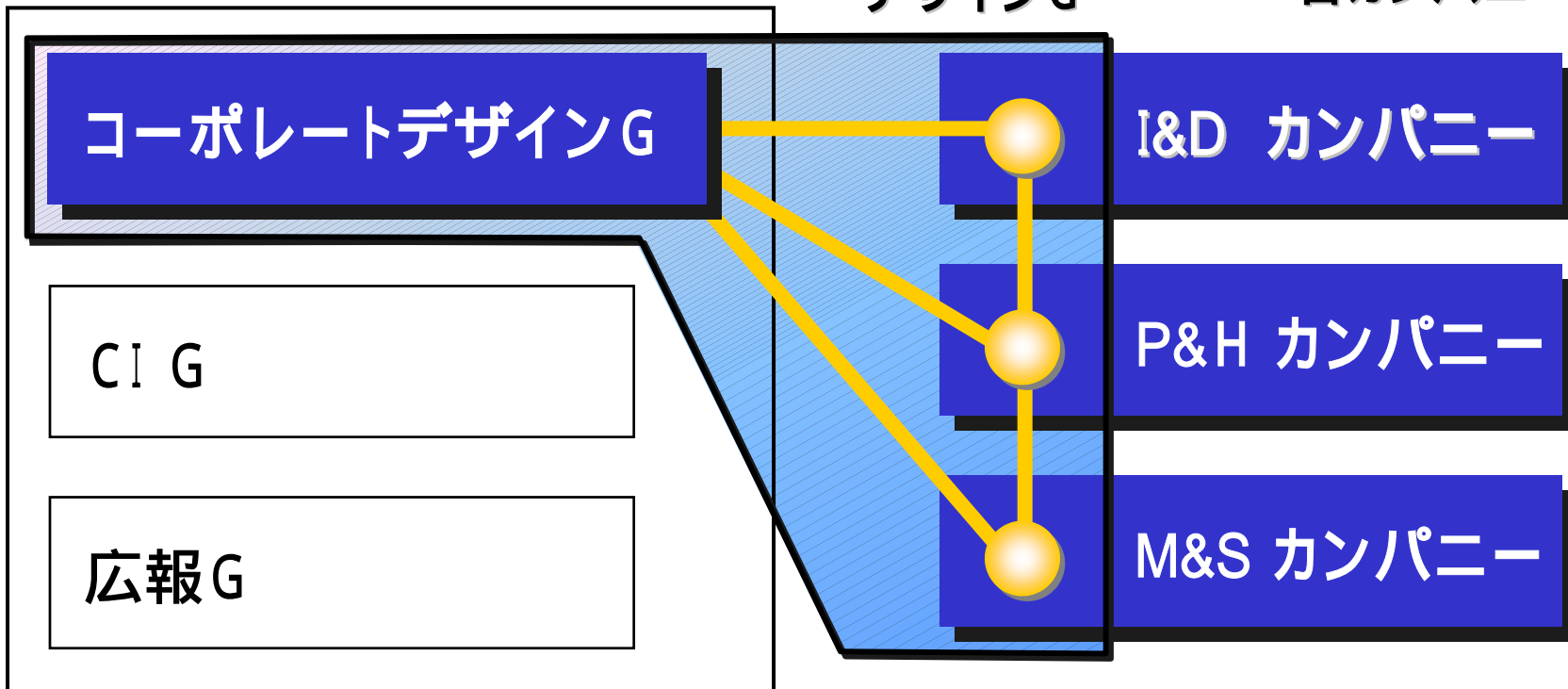
3位

2-1. デザイン部門の編成

本社 広報部

デザインG

各カンパニー



2-2.カンパニー制対応業務分担

	本社	カンパニー I&D	カンパニー P&H	カンパニー M&S
コーポレート戦略	●			
新事業・企画開発	●	●	●	●
製品開発	●	●	●	●
販売支援	●	●	●	●
本社支援	●			
関連会社支援	●			

3.デザイン開発とユーザビリティ評価

3-1.ユーザビリティ評価の歩み

1)導入から現状

3-2.ハンディラベルライターのデザイン開発とユーザビリティ評価

1)製品の評価

2)検証から、デザイン開発へ

3-1.ユーザビリティ評価の歩み

< 導入時期 >

1995.07 ~ 10. : 「ユーザビリティ評価」連続勉強会

参加者 : プロダクトデザイナー、インタフェースデザイナー、
デザイン支援担当、
メカ設計者、ソフト設計者

1996.02. : テスト開始(各製品領域を一順へ)

1997.08. : 海外でのテスト実施(海外市場製品にて)

< 展開時期 >

1998.11. ~ : 新規開発製品を主に、6 ~ 8件/年
関連部門からの依頼、共同実施

3-2.1) ハンディPTのテスト評価

目的: ハンディタイプPTでの問題点発見
自社、他社製品の比較(K/B配列等)
着席状態と起立状態での差異確認

- セットアップ
電池、サプライセット
- 基本操作
文字入力、プリントアウト

時期: 1997.5.実施

被験者: 該当地域国籍者 7名



3-2.1) ハンディPTのテスト評価

評価機種



自社製品



自社製品



他社:比較製品

3-2.1) ハンディPTのテスト評価

結果:

- 基本操作において、自社製品に重要な問題点は発見されなかった。 他の問題点は、製品へ反映
- K/B配置に関しては自社(擬似Qwerty配列)と他社(ABC配列)の支持者は2分した。
- 着席状態と起立状態での使用方法(保持方法等)で大きな差異は見られなかった。
- 保持方法は、片手で保持しもう一方の手の指で入力する方法と、両手で保持し親指で入力する方法に2分された。

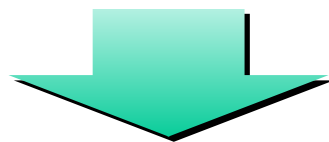
3-2.1) ハンディPTのテスト評価



片手での保持方法



両手での保持方法



両手保持での入力スタイル
提案への一要因

3-2.2) 新スタイルの提案と検証

目的: 試作品の案の選択(K/B配列改良)

両手保持とジョグダイヤルの評価

– 基本操作 = モックアップ

保持方法、文字入力方法、ジョグダイヤル形状

– メカ操作感/メニュー操作概念 = 機構試作品

時期: 1999.10 ~ 11.

被験者: 該当地域国籍者 6名

社内モニター 11名



3-2.2) 新スタイルの提案と検証

評価内容：保持具合、K/B操作性



自社：モックアップ



他社：比較製品

3-2.2) 新スタイルの提案と検証

評価内容: ジョグダイヤルの操作性



モックアップ

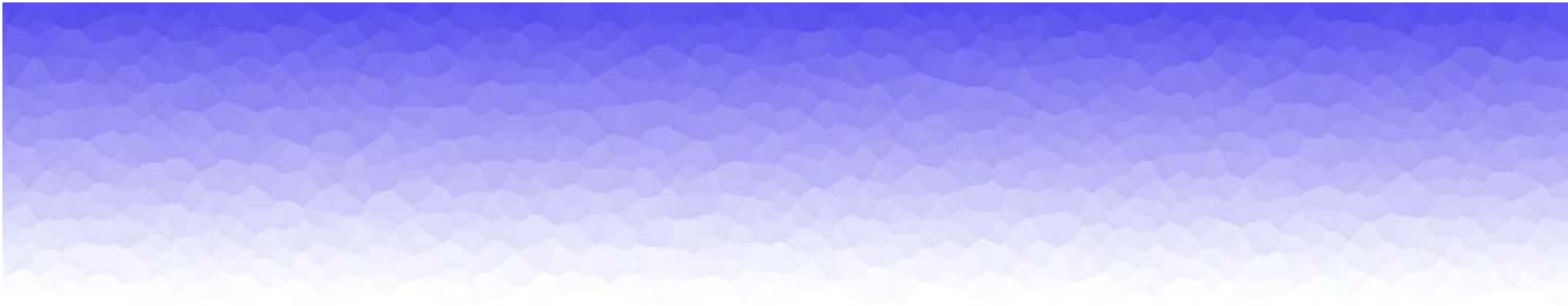


機構試作品

3-2.2) 新スタイルの提案と検証

結果:

- 机上保持の有無: 海外 =1/3の被験者のみ保持
- 保持方法(起立): 海外 =両手と片手は半々
国内 =両手1/3、片手=2/3
- 文字入力方法: 机上 =両手人差し指が大半
両手保持 =両手親指、
片手保持 =片手人差し指が大半
- ジョグダイヤル案: 様々な操作手法が可能な案が支持された。
海外と国内では、差異無し。
- 機構試作品: メカ設定案の選択、メニュー階層の検討へ。



brother *At your side.*